

日本のごみ清掃センターに目を向けてみよう（3）

粗大ごみ編

これまでの記事では家庭から出されるごみの収集方法と可燃ごみについて、そして不燃ごみ・有害ごみと資源ごみについて紹介しました。今回は、粗大ごみについて紹介していきます。

取材のご協力を頂きました千葉県八千代市では、八千代市指定の20Lごみ袋の口が結べない、または、はみ出てしまう大きさのごみを粗大ごみとしています。粗大ごみは通常の可燃ごみ、不燃ごみ・有害ごみ、資源物と違い定期的な収集は行っていません。収集方法は2種類あり、電話にて専用の受付センターへ申し込みを行い、指定の場所まで回収しに来てもらう方法。もう一つは、直接自分で清掃センターへ持ち込む方法があります。市町村によっては、インターネット上で申し込みができるところもあります。

大件垃圾

大件垃圾是指 **20 升用**的八千代市指定垃圾袋口无法封紧, 或者是超出其大小的垃圾。

【大件垃圾处理手续费分为2等级。】

- ①大型或重量物等…… 1件 600 日元（大件垃圾处理券2张）
- ②其他大件垃圾…… 1件 300 日元（大件垃圾处理券1张）

※搬运至清扫中心时的费用按照上述减半。
(此时为现金支付, 请勿购买大件垃圾处理券。)



資料1：八千代市が定めている粗大ごみ



（八千代市大件垃圾处理券）



（受理店显示标签）

資料2：粗大ごみを回収してもらう際に必要な処理券

電話で申し込む際は、どんな種類のごみがいくつあるかなどの詳細を伝え、回収に必

要な金額と受付番号、回収日を確認します。その後、粗大ごみ処理券を扱っている店へ行き、指定された金額分の処理券を購入します（資料2参照）。大型、または重さがある自転車、ベッド、家具などは1点につき600円、そのほかのものは1点につき300円で回収を行っています。また、直接清掃センターへ持ち込む場合は、処理券を購入する必要はなく、さらに、処理にかかる費用も回収に来る際と比べて半額となります。

粗大ごみとされるごみは、例えば、ガスコンロ、照明器具、電子レンジなどの電化製品から家具や自転車・釣り竿・スーツケース・物干し竿などの生活用品まであります。但し、法律によって定められているテレビ、エアコン、洗濯機、冷蔵庫、パソコンや大型のものなど、清掃センターでは処理できないものもある。

大件垃圾各品种费用表例（委托收集的费用）

单位：日元（含税）

品名	金額	备注
煤氣・電化產品	音频设备	300 功放机、调谐器等各300日元
	台式燃气灶、嵌入式燃气灶	300
	被炉	300 最长一边超过100cm时600日元
	照明器具	300 荧光灯为有害垃圾
	餐具洗涤干燥机	300 迁入式不可
	扬声器	300 最多左右1套（2台）
	风扇	300
	微波炉	300
	缝纫机	300
	家具・卧具・门窗用具	塑料制容器（垃圾箱、花盆、塑料桶等）
塑料制收纳盒		300 高度40cm以下时最多2个 300 高度超过40cm时1个
椅子（1人座）		300 2人座以上为600日元
座垫・靠垫		300 最多5个
榻榻米		300 仅限将1榻榻米大小切割为1/4后的物品（注2）
垫褥（地毯、绒毯、凉席等）		300 2榻榻米大小以下最多2张
收纳家具（柜子、书架、梳妆台、侧柜、餐柜、音响支架、电视柜、鞋柜等）		300 最长一边90cm以下的物品 600 最长一边超过90cm的物品
帘子、苇席、百叶窗		300 卷曲状态下长度150cm以下的最多2个
沙发、接待椅（1人座）		300 2人座以上为600日元
书桌、桌子		300 盖板最长一边超过100cm的为600日元
门窗用具（外拉门、纱窗、纸拉门、隔扇等）		300 仅限未施工的物品（注2）
管状台架		300 可用在书架上的坚固物品按照“收纳家具”执行
被褥、电热毯		300 最多2条
床、婴儿床		600 含弹簧的垫子不可

資料3：粗大ごみを収集依頼する際の料金（一部）

引っ越しなどで一時的に大量のごみが出た場合や粗大ごみの回収日までに日数が多くかかってしまうため急ぎでごみを処理したい場合は直接清掃センターへ持ち込むのも一つの方法である。東京都23区内には可燃ごみの清掃工場だけで約21か所ある。場所によって異なるが、都心周辺であれば、おおよそ一つの区または市に1か所の清掃施設があることとなる。

八千代市の清掃センターでは、直接ごみを持ち込みする件数が平日一日当たり平均

100 件ほどとなっている。月に一度土曜日にも持ち込みできる日があり、土曜日ともなると一日で 450 件ほどにも上ることがある。ちなみに、筆者も取材の際に粗大ごみを含んだごみを大量に持って行ったが、その日は平日だったにもかかわらず、約 250 件もの持ち込みがあったようだ。



資料 4：清掃センターへ直接ごみを持ち込む様子

自家用車にごみを積んで持って行く人がほとんどだが、中には捨てる自転車にごみを積んで乗ってくる人もいるそう。受付をする際に必要書類を記入したあとは、積んでいるごみの種類に応じて、「書籍は 3 番のところへ行ってください。」(資料 4 参照) といった具合に指示がもらえる。働いているスタッフの方々はとても手馴れているので、女性が一人で行っても特に不便はなくスムーズにごみの処理をお願いすることができました。

清掃センターへ持ち込まれた粗大ごみは、粗大ごみ処理施設で処理されます。粗大ごみを処理する際にも、不燃ごみと同様、燃えるものと鉄など資源になるものに分けていきます。たとえば、自転車などは専用の場所に分けて入れられます。

粗大ごみはあるが、電話をするのも持ち込むのも面倒だからといって、不法投棄をするのはいけないことです。そして、ごみを回収するにあたって、日本では専用の許可を取ることが必要です。無許可で廃品回収をする業者もあるが、そういったところにごみを出してしまうと、適切な手順で処理をしてもらえず、資源になる部分だけを取り出し、ほかの部品はその辺に捨ててしまうということもあるので、ごみを処理するのもきちんと責任をもって正しく処理する必要があります。



資料5：粗大ごみの分別（左から自転車、鉄類、燃やせるごみ）

3回にわたって日本でのごみの捨て方や清掃センターについて紹介をしてきました。可燃ごみ、不燃ごみ・有害ごみ、資源物、粗大ごみ、種類によって違うごみをそれぞれのルールに応じて分け、そしてごみを捨てるための袋を購入し、それに入れて捨てること。ごみとして捨てる前にそのごみを洗って、きれいにしてから捨てるということ。これらのことは、今までごみを分別する習慣がなかった方々にとっては、とてつもなく面倒なことであると感じることでしょう。ごみを捨てるというたったそれだけのことに、このような手間と時間、そしてお金までをかけるということは理解がしにくく、慣れないうちはこのようにすることがなかなか難しいかもしれません。

だけれども、このような手間と時間とお金をかけるのは、すべて、限りある地球の環境を守りながらその資源を大切に使いことうという目的があるからだと筆者は考えます。ごみを出すことは人々が生活をする中で避けては通れないことです。だからこそ、皆一人一人が、自分ができることについて努力し続けることが大切です。そうすることで、私たちが暮らしている地球の環境に対するマイナスなことを最小限に留めることができるのではないだろうか。何でもかんでも一緒に捨ててしまうと「ごみ」はただの「ごみ」であり、増えていくだけです。けれども、一人一人がきちんと分別して、リサイクルして再利用すれば「ごみ」は「資源」という価値があるものに生まれ変わることができます。

ウィリアム・ジェームズという方の有名な言葉に、「心が変われば行動が変わる、行動が変われば習慣が変わる、習慣が変われば人格が変わる、人格が変われば運命も変わる。」があります。最初は慣れなくて面倒だと思うことも意識をすることで習慣にすることができます。ごみをごみとして捨てる前に、そのごみが資源になることはできないだろうかと考え、一人一人が自ら進んで地球にやさしい分別作業をできるようになることを願います。そうすれば、あなたの行動によって、地球の運命も変わるかもしれません。

